

連続シンポジウム

「NHK と放送メディアのこれから」

第1回

フジテレビ問題から テレビの未来を考える

講演者

パネリスト



田淵俊彦氏

桜美林大学芸術学群ビジュアル
・アート専修教授

大島 新氏

東京工芸大学芸術学部映像学科教授

村井明日香氏

昭和女子大学人間社会学部准教授

砂川浩慶氏

兼司会・立教大学社会学部長
・メディア社会学科教授

日時 2025年5月25日 14:00~17:00 (13:30 開場)

会場 立教大学池袋キャンパス5号館5121教室 (資料代500円)

タレントのトラブルに端を発したフジテレビ問題は、メディア企業の人権意識、男性中心の負の側面をあぶり出し、経営にまで深刻な影響を与える事態を生んだ。3月末に公表された第三者委員会報告書での指摘を踏まえ、この問題がなぜ起きたのか、なぜ危機対応を誤ったのか、これからどうすべきかを議論し、テレビが生き残るためには何が必要なのかを考える。

第1部ではテレビ東京出身の田淵俊彦・桜美林大学芸術学群教授がこの問題に関して講演する。第2部では、砂川浩慶・立教大学社会学部教授を司会に、田淵氏、フジテレビ出身の大島新・東京工芸大学芸術学部教授、元テレビ番組ディレクターの村井明日香・昭和女子大学人間社会学部准教授をパネリストに議論を深め、テレビの未来を考える。

〈主催〉立教大学社会学部メディア社会学科・砂川ゼミ / 市民とともに歩み自立した NHK 会長を求める会

(問い合わせ先) 小滝一志 090-8056-4161 / 長井暁 090-4050-5019

〈共催〉日本ジャーナリスト会議 (JCJ) / NHK とメディアの今を考える会 / 放送を語る会

/ 市民社会フォーラム / あけび書房

フジテレビ問題からテレビの未来を考える

〈講演者プロフィール〉

田淵俊彦 ● 桜美林大学芸術文化学群ビジュアル・アート専修教授 1964年兵庫県生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、テレビ東京に入社。世界各地の秘境を訪ねるドキュメンタリー、「連合赤軍」「高齢初犯」「ストーカー加害者」をテーマにした社会派ドキュメンタリーのほか、ドラマのプロデュースも手掛ける。著書に『混沌時代の新・テレビ論』（ポプラ新書）、『弱者の勝利学 不利な条件を強みに変える“テレ東流” 逆転発想の秘密』（方丈社）など。

〈パネリストプロフィール〉

大島 新 ● 東京工芸大学芸術学部映像学科教授 1995年早稲田大学卒業後、フジテレビに勤務。1999年フリーとなり、MBS「情熱大陸」、フジテレビ「ザ・ノンフィクション」など数多くの番組を演出・プロデュース。2009年映像製作会社ネツゲンを設立。映画監督作品に『なぜ君は総理大臣になれないのか』『香川1区』『国葬の日』など。著書に『ドキュメンタリーの舞台裏』（文藝春秋）。

村井明日香 ● 昭和女子大学人間社会学部准教授。博士(情報科学)。テレビ番組のディレクターを経て2023年より現職。専門は、メディア論、メディア・リテラシー教育。主な演出番組に、「ザ・ノンフィクション〜青春 YELL! 花の中学生応援団 3000日」(フジテレビ)、「テレメンタリー 2013 もう一つの学校『はじめ塾』」(テレビ朝日)など。

砂川浩慶 ● 立教大学社会学部長・メディア社会学科教授。研究テーマは、放送を中心とするメディア産業、メディア政策・法制度、ジャーナリズム論、コンテンツ流通など。著書に『安倍官邸とテレビ』『放送法を読みとく』など。

〈会場・立教大学へのアクセス〉

JR池袋駅西口より大学正門まで徒歩約7分

地下鉄東京メトロ

丸ノ内線/有楽町線/副都心線 池袋駅西口より

大学正門まで徒歩約7分

有楽町線/副都心線 要町駅6番出口より

大学正門まで徒歩約6分

西武鉄道 西武池袋線池袋駅西口より

大学正門まで徒歩約7分

西武池袋線椎名町駅北口より

マキム門まで徒歩約12分



立教大学池袋キャンパス
5号館 5121 教室